

# 緑化だより

No. 59 平成23年3月号



キブシ 平成22年3月10日撮影

- きのこユーモラスネーミング
- 庭木の手入れ
- 樹のあれこれ

- 研修会報告
- 研修会・イベント紹介
- お知らせ・ご案内

**生き物いっぱい 自然いっぱい**

**広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園**

**〒732-0036 広島市東区福田町 166-2**

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail [hiroshima@ryokka-c.jp](mailto:hiroshima@ryokka-c.jp)

# きのこのユーモラスネーミング

## 外国編(11) 『Bamboo Mushroom』 竹茸

きのこの名前は、世界共通の学名と各国で異なった名前(日本では和名と言われる)と2通りあります。その他日本では方言名もありますが。昨年4月から外国(欧米)で使われているユーモラスな英名をとりあげています。

“竹茸”と呼ばれているキノコは日本ではキヌガサタケのことです。竹林に発生することから名づけられたようです。和名の“衣笠”は、白いレース状のマントを、奈良時代の高貴な人の差し掛けた衣笠に見立てたようです。その優美な姿から“きのこの女王”とも呼ばれています。



梅雨時期や秋に竹林に発生しますが最近では竹林が荒れてきたせい、また減少しているのか、あまり姿を見なくなってきました。マントが黄色いウスキヌガサタケの方をよく見かけます。傘には暗緑色、粘液状のグレバがあり、優美な姿からは想像もつかないような悪臭を放ちます。

このキヌガサタケ、中華料理で珍重されます。傘に付いている粘液状のグレバを洗い流して、柄とともに乾燥したものを、スープ、和え物、煮物などにします。

## 庭木の手入れ

### 『3月の手入れ』

昨年の夏は約 50 日近く雨がなく、1月から2月にかけても雨が降りませんでした。又、2月には急に気温が下がり、センター内では枝折れするほどの雪が降り、木々はダメージを受けました。

障害が大きい年は、芽吹き具合、枯れた小枝、毛虫の卵、幹肌の色や虫くい跡、常緑樹では葉のつや等々一本ずつ丁寧にみます。

病虫害防除、肥料やり、適切な剪定等で、厳しい冬を越えた木の手助けをしましょう。

樹木生育のスタートの月です。適切な手入れが木の生育に大きく影響します。

対策に困ったときはご相談ください。

#### ◎ 寒 肥

1、2月に施肥していない場合は、遅くとも3月中旬までには寒肥として「緩効性肥料」を与えましょう。健康で丈夫な株作り、良い花を咲かせるのに効果的です。寒肥には油粕と、発酵鶏糞か骨粉を半分ずつ混ぜて与えるとよいでしょう。

#### ◎ 病虫害防除

枝のつけ根、葉の裏にイラガやチャドクガなど毛虫の卵がついていることがあります。見つけたら、すぐ切除し踏みつぶすか焼却してください。春からの被害が減少します。

# 樹のあれこれ

## 春一番に咲く花

寒い冬に耐え春を迎えると種々の樹木が花を咲かせます。

中でもまだ寒い時、春を教えてくれる花があります。そのような花をいくつか紹介しましょう。

### ・ロウバイ(蠟梅) ロウバイ科ロウバイ属

中国原産。高さ 2~4m。早春、葉に先立って、それぞれの枝の節に密接して花が付きまします。名前の由来は、漢名「蠟梅」の音読みで、ウメと同じ頃に咲き、香りも近く、花卉が蜜蝋に似ているためです。仲間に、花卉が広く、花が美しいダンロウバイ(壇蠟梅)、花全体が黄色で香りの良いツシンロウバイ(素心蠟梅)があります。



ロウバイ

### ・ミツマタ(三桠・三叉・三又) ジンチョウゲ科ミツマタ属

中国原産。高さ 1~2m。2~4 月にかけてジンチョウゲに似た形の花をつけます。名前の由来は、枝が三本づつに分かれているためです。和紙の原料を採るために栽培され、コウゾ、ガンピと並ぶ和紙の伝統的な主要原料です。ミツマタで作った紙は長く使用してもシワにならず、虫もつきにくいため紙幣されています。



ミツマタ

### ・マンサク(満作) マンサク科マンサク属

各地の山地に自生し、早春、黄色の花を咲かせます。名前の由来は、「まず咲く」が訛ったとか、花が咲いている様が稲穂の実りを連想させ、「豊年満作」から呼ばれるようになったなどがあります。仲間に、マルバマンサク、アテツマンサク、シナマンサクなどがあります。



アテツマンサク

### ・ダンコウバイ(檀香梅) クスノキ科クロモジ属

各地の山地に自生し、早春、葉に先立って黄色い小花を密集してつけます。雌雄異株。枝を折ると芳香があります。名前の由来はロウバイの一品種であるトウロウバイの漢名の転用です。香りが良いので爪楊枝にし、古くは果実より灯油を取りました。



ダンコウバイ

他にも早春の花には、アブラチャン、アオモジ、クロモジ、カナクギノキ、ヒュウガミズキ、トサミズキ、レンギョウ、ウメなどがあります。

# 研修会・イベント紹介

## 3月5日(土) 早春のバードウォッチング

9:00~12:00 管理事務所前集合 講師 日鳥連会員 吉見 良一 先生  
緑化センター内の野鳥を観察します。 (※参加者は、双眼鏡持参のこと)

## 3月11日(金) 3月の自然探勝

10:00~12:00 管理事務所前集合 講師 植物研究家 清藤 徹 先生  
毎月恒例の自然観察会です。 (※都合により、講師が変更になりました)

## 3月23日(水) 早春の樹木を見て歩こう

10:00~12:00 管理事務所前集合 講師 植物研究家 清藤 徹 先生  
植物が芽を吹き、花が咲き始める季節です。そんな初春の植物を観察します。

## 4月8日(金) 春の写真教室

10:00~12:00 学習室集合 講師 二科会会友 宗岡 泰昭先生  
写真を上手に撮るコツを習った後、園内で撮影会を行ないます。



昨年の  
「早春のバードウォッチング」



昨年の「3月の自然探勝」

## ☆お知らせ・ご案内☆

### ◎ 企業の森について

昨年9月5日に行いました開園30周年記念イベントの一環として、「フォーラムの森」「マツダの森」が森林整備活動を新しく始めることが発表されました。続いて「モリからの森」「山根木材の森」「もみじ銀行の森」の取り組みが決まりました。一定のゾーンの森林の手入れを行う事業で、その森林を間伐したり、植栽したりする活動です。

企業が公園の一部を占有するのではないかとの質問が数件ありましたが、全く関係ありません。ゾーンを定めてそのゾーンの手入れを行うのが企業の森活動です。

一方、企業の森活動に個人で参加したいとの問い合わせを頂きます。

企業の森の活動には、①企業の社員のみで行う②企業の社員と家族で行う③企業の取引先と行う④一般募集して共同で行うものがあります。一企業が年に数回は行われますので、一般参加が可能な時は公表しますのでその節は是非ご参加くださるようお願いいたします。

### ◎ 展示会のお知らせ

展示場所:レストハウス

- ・ 押し花展 2月22日(火)~3月27日(日)  
押し花で作った作品の展示
- ・ 緑化センターの野鳥の巣展 3月3日(木)~3月27日(日)  
緑化センターで見られる野鳥の巣を展示
- ・ 緑化センターのサクラ写真展 3月25日(金)~4月23日(土)  
緑化センターで見られるサクラの写真を展示



昨年の  
「早春の樹木を見て歩こう」